

【令和3年度 授業改善推進プラン】

板橋区立富士見台小学校

【家庭】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制作活動に関しては興味関心が高く、意欲的に取り組むことができる。 ・手縫い、ミシンの扱いなど基本的な技能の個人の差が大きい。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題について、解決に向けて見通しをしっかりとらせたり、学習したことの振り返りをさらに充実させたりする必要がある。 ・裁縫などの実習は個人差が大きいため、個に応じた手立てや支援が難しい。 ・家庭科で実践したことを生活に生かす機会を意図的に設ける必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p><u>◇学習課題を設定し、見通しをもって課題解決できるようにするために</u></p> <p>○問題解決型・探究型の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の身近にある題材や生活課題を取り上げ、実物を具体的に提示すると共に、学習のねらいを明確にし、学習の見通しをもちやすくする。 ・調理実習や裁縫の際には、手順や役割・時間配分をしっかりと提示し、見通しをもって活動ができるようにする。活動後は、振り返りを行い次時の活動や家庭での実践につなげる。 <p>○協働学習の導入</p> <p>課題解決にあたって、自分の考えを明確にしたり深めたりするために、児童同士で意見交換をする場面を設定する。</p> <p><u>◇基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられるようにするために</u></p> <p>○基礎的な技能の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理、裁縫などの基礎的な技能を定着させるために、デジタル教科書や実物投影機などICT機器を活用することで一つ一つの手順を正確に理解させる。また、学習プリントで技能の確認をしたり、可能な限り保護者や地域の方々にも協力してもらったりする。 <p>○指導と評価と支援の一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習では、できるかぎり少人数での実習にしたり、できあがった料理をクロームブックで記録して振り返りがしやすいようにしたりと、一人一人の作業が見えるような支援の工夫を行う。また、裁縫の作品作りでは、作品の制作過程を細かく見取り、個に合わせた支援を行えるようにする。 <p><u>◇実践的な態度を育てるために</u></p> <p>○日常生活との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習して身に付けたことを家庭生活の中で実践・活用することで、家族の一員としての自覚をもった生活を実感できるようにする。 ・学習したことを日常生活に生かすように、学習プリントを活用し、実践後に保護者の感想等を記入してもらい家庭との連携を図る。